

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針1 健康福祉	地域福祉・社会保障	・陶・日吉・釜戸の福祉サービスが充実するとよい。	・福祉サービスについては、各事業者が、市内全域を対象として事業を行っています。市は今後も各種サービス事業者と連携し、福祉サービスの受給に隔たりの出ないよう努めていきます。	社会福祉課
		・7040・8050問題などのサポートが市にあるのか。調査してほしい。	・7040・8050問題等、複合的な問題については市のみではなく、社会福祉協議会や地域包括センターと協力して、解決に向けサポートを行っています。7040・8050問題における個別の現況調査については、現在予定しておりませんが、お困りの場合はお気軽にご相談ください。	社会福祉課
	健康・医療	・訪問医療、処方薬の宅配などが充実してほしい。	・在宅医療については、在宅診療支援診療所と訪問診療がそれぞれの役割を担っています。市内の診療所だけでなく、市外からも訪問診療の利用は可能です。処方薬の宅配については、民間サービスで取り組んでいる薬局があり、今後も増える可能性があります。地域包括ケアシステムの深化・推進を図るなかで、医療と介護等の連携を進めていきます。	健康づくり課
		・医療関係者と福祉関係者が患者の自宅に集まり、家族と意見交換を行い、当事者の希望にそった治療を行うことにより、安心した死を向かえることが大切。	・医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療と介護の連携が推進され、包括的かつ継続的な支援が提供できる体制の構築に取り組んでいます。	高齢福祉課
			・看取りについては、医療機関や介護保険等の関係者間で話し合っただき、調整していただくとよいと考えます。	健康づくり課
		・世の中には健康効果を謳った商品が数多く販売されているが、本当に効果があるかを判断することができない。効果があるものを利用することは、医療費削減につながるはずなので、効果を国などが確認したものに対し補助を出して手を出しやすくなるような制度がほしい。	・国が安全性や効果を厳しい基準を設けて個別に審査し、合格した商品のみ消費者庁によって機能性表示が認められているのが、トクホ（特定保健用食品）です。トクホは名前のとおり特定の保健用であり、医療費削減につながるかは定かではありません。現在のところ、国が健康効果を確認した商品の購入に対する補助制度は困難と考えます。	健康づくり課
		・乳幼児健診の案内をその度、送付してもらえないか。健康カレンダーは配られるが、アパートに住んでいる人には分からない。	・乳幼児健診の案内は、その都度送付しています。また次回の教室等の保健事業の案内も行っていきます。保健事業については市ホームページにも記載しています。健康カレンダーは、保健センター等の窓口でお渡しできますので、広報と同様、入手していただけます。	健康づくり課
		・保健センターの指導等が充実しているので、アピールの声を大きくした方がよい。	・保健センターで行っている保健指導等は今後も継続して実施していくとともに、周知にも努めます。	健康づくり課
・産婦人科がなくなり、子を産む病院がない。地元で安心して出産が出来る様にして欲しい。	・東濃厚生病院と土岐市立総合病院の統合による新病院の建設基本計画において「産科の早期開設を目指す」としており、実現に向け取り組んでいきます。	健康づくり課		
・病院の統合は反対。移住を促進する上でも大きな病院の存在は重要。東濃厚生病院は瑞浪市民以外も多く利用している。統合により医師不足を解消できるとは考えにくい。ここで立ち止まり、市民の声をよく聞くべきではないか。	・人口減少や医師の確保が困難な状況が続くこと（特に東濃厚生病院・土岐市立総合病院規模の病院では、専門医、高度医療のための医師確保が困難）などの事由により、現状のままの形では、ともに経営が立ち行かなくなり、両市から総合病院が無くなるのが懸念されます。東濃厚生病院・土岐市立総合病院の一病院化は、地域の医療資源を集約し、より高度な医療サービスの提供と、将来に亘る地域医療の確保を目指すものであることをご理解いただきたいと思います。	健康づくり課		

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・新病院への送迎バスが少しでも多く発着するような形にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院の運営を担っていただくJA岐阜厚生連が行う交通施策とともに、市としてもできることを考えていきたいと思えます。 	健康づくり課
		<ul style="list-style-type: none"> ・東濃厚生病院の跡地を介護施設や看護・介護教育の場にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東濃厚生病院の跡地利用について、一次医療機能の継続及び福祉・介護施設等として活用いただくよう要望しております。このことについて、今年度、JA岐阜厚生連、瑞浪市、恵那市と協議会を立ちあげ検討を開始しました。東濃厚生病院はJA岐阜厚生連所有のものであり、最終的には厚生連が判断されます。 	健康づくり課
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援施策の充実。子育て世代の人が移住しやすい環境にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から子育て期の相談に対応できる体制としたほか、「病後児保育事業」の対象に病気治療中の子どもを加え「病児・病後児保育事業」をスタートするなど子育て支援施策を拡充しています。今後も子育て支援施策の充実を図ります。これらの情報については、親と子のハンドブック「にこにこ」、母子手帳アプリ、市ホームページなどで広くPRしていきます。 	子育て支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・未満児の保育料が高すぎて働けない。保育料を下げしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点において未満児に関する保育料等を市独自で安くする予定はありません。国や県の動向を注視し、適宜対応を検討します。 	子育て支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の保育部での一時預かりをしてほしい。 ・一時保育を充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの一時的な預かりをご希望であれば、ファミリーサポートセンターの利用をご検討ください。利用対象年齢は、概ね1歳から10歳までです。また、私立のこども園や保育園において、一時預かりを実施していますので、こちらもご検討ください。 	子育て支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・学童が保護者運営なので、自治体運営してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、現在の運営体制を維持する方針です。学童クラブについては、市としまでも様々な課題があるという認識を持っています。今後の検討課題とさせていただきます。 	子育て支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・休日や雨の日に遊べる支援センターが欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4箇所の子育て支援センターは、雨の日も室内でご利用いただくことができ、土曜日の午前中は閉館しています。現時点においては、土曜日以外の休日に開館する予定はありません。土曜日の午後については、開館している児童館や児童センターがありますので、ご利用ください。 	子育て支援課
		障がい者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児を預かってもらえる施設、環境がなく、仕事に行くことができない。 ・知識を持った人からの適切なアドバイスが欲しい。専門の相談窓口が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの内容や程度にもよりますが、児童発達支援や放課後デイサービス等の利用が考えられます。ただ、重症心身障害児や医療的ケア児の場合、受入対応のできる事業所が限られるのが現状です。 ・専門的な相談窓口については、重症心身障がい児に関する相談は多治見市役所内に重症心身障がい在宅支援センター「みらい」東濃サテライトが、発達障がい児に関する相談は、東濃圏域発達障がい支援センターが土岐市にあります。電話・メール等での相談も可能ですのでご利用ください。 ・幼稚園においては、障がいの内容や程度により、保育士が支援することにより、日常生活・集団活動が可能なお子さんについては、入園していただいています。医療的ケアが必要なお子さんについての幼稚園や小学校の入園・入学に関しては、各施設の医療的ケアに関するガイドラインに基づき、審議会において入園・入学の可否について審議して対応しています。

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	高齢者福祉・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者増加に伴い、介護施設の充実を図ってほしい。有料老人ホームはあっても値段が高額。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設については、定期的に待機者の状況等を調査し、設置の必要性について検討しています。関係機関と連携しながら、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられる環境づくり（地域包括ケアシステム）を推進しています。 	高齢福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・がん末期の診断の人の基準を下げて要介護にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定の基準は、あくまでも、本人の現在の状態と、主に介護を行う方がどの程度出来るのかという基準で判断しますので、「がん末期」ということで基準が下がることはありませんが、状態が急速に悪化する可能性もあるため、認定にかかる日数については迅速に対応させていただいております。 	高齢福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の買い物支援について他市町村の状況を踏まえて検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内自治体においてインターネットを活用した買い物支援は現在行われていませんが、民間の食料品等配達事業所においては、電話、ファックス、インターネット等利用者の都合に合わせた注文方法を採用している所が多くありますのでご活用ください。 	高齢福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が集まり、お茶を飲みながら雑談する場所があれば、楽しく暮らせると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン等の集まりの場は、各地区公民館やハートピア、個人宅など様々な場所で実施されています。集りの場への参加は、介護予防の観点からも非常に重要であることから、集りの場の情報収集や情報提供等、より多くの方に集りの場に参加していただけるような取り組みを行いたいと考えています。 	高齢福祉課
基本方針2 生活環境	循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> ・電池・電球の回収も不燃ゴミに出せる様、検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電池・電球は水銀が使用された有害ごみであり、水銀による健康被害や環境破壊を防ぐために適切な処理が必要となります。不燃ごみとして出された製品が破損すると、この処理ができなくなることがあります。また、回収時に電池が放電すると車両火災が発生する恐れがあります。これらのことから、電池・電球は不燃ごみでの回収はできません。市内に9箇所ある指定集積場所にて有害ごみである電池・電球を回収していますので、ご理解とご協力をお願いします。 	環境課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理代（ごみ袋代）が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理手数料（ごみ袋の料金）は、平成19年1月の改定以後据え置きました。しかし、この15年の間に、消費税の増税（5%から10%）、物価や人件費などの上昇による処理施設の維持管理経費の増加などにより、ごみ処理経費は増加してきました。さらに、処理施設の老朽化などに伴い今後もごみ処理経費の増加が予想されることから、令和4年4月にごみ処理手数料の改定を行いました。市のごみ処理についてのご理解と、ごみの減量化についてのご協力をお願いします。 	環境課
		<ul style="list-style-type: none"> ・最近収集日の前日や前々日にゴミを出す方が多い。ゴミ収集日の朝に出すことを強く周知してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみは収集日当日に、午前8時半までに出していただくよう、市ホームページ及び「家庭ごみの分け方・出し方便利帳」で周知しています。なお、クリーンセンターでは、収集日より前にごみが出されないよう集積場に掲示する注意表示をお渡しすることもできますので、ご相談ください。 	環境課
		<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを更に分別して堆肥化やその他の先進的な処理を研究して処理してほしい。CO2の排出や有効利用の観点からも考えてほしい。不燃物も同様。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した効率的なごみ処理について、積極的に情報を収集して検討していきます。 	環境課
		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1月に下沖町の土岐川の河原で地域の人が集まって物を燃やしているが煤や煙が酷く、住宅が増えてきた昨今そのような催しは廃止していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の地域行事は「どんど焼き」等と呼ばれる昔からの風習で、野焼きとしての禁止行為にはあたらないため、市では規制ができません。実施の判断については、地域の皆様でご検討ください。 	環境課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・数年前までゴミ収集日のカラーのチラシが郵便ポストに入っていたが、ここ数年はもらえなくなったため、配布してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集日のカラーのチラシである「瑞浪市家庭ごみの収集カレンダー」は、「家庭ごみの分け方・出し便利帳」とともに、毎年、広報みずなみ3月号と一緒に地域の自治会を通じて全戸配布しています。なお、市役所、各コミュニティセンター、クリーンセンターの窓口に配付用のものを備え付けているほか、市ホームページにてデジタルデータを掲載していますので、ご活用ください。また、いつでもごみの収集日や分別方法を確認できるスマートフォンアプリ「さんあーる」も配信しておりますので、ぜひご利用ください。 	環境課
	環境保全・エネルギー	-	-	-
	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの便数が少ない。最終便を1時間遅くしてほしい。 ・コミュニティバスで行ける場所を増やしてほしい。 ・コミュニティバスの乗り心地が悪い。 ・無料バスを運行してほしい。 ・デマンド交通は時間の規制があり、料金も高く使いにくい。 ・デマンド交通をスマホで当日予約できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共交通機関については、コミュニティバスが市内9路線を5台の車両で運行しており、運賃を距離に応じ100円から400円と設定しています。また、交通不便地域である日吉地区、明世地区、釜戸地区、大湫地区においては、デマンド交通「いこCar」という乗り合いタクシーが各地域と市中心部を1日3往復運行しています。運賃についても、おひとり1乗車500円と大変お得な設定となっており、車を運転できない方の日常生活の足として活躍しています。ただ、乗合型のタクシーである性質上、現在の体制では事前の予約が必須となっています。 ・市内には他にJRや東濃鉄道バスが運行しており、コミュニティバスはそれぞれの接続に配慮しながらダイヤの編成を行い、限られた人員と車両数で最大限の便数を確保しながら、効率的な運行を行っています。運行経路や時刻の見直し、停留所の新設にあたっては、毎年利用者アンケートや地区要望を募り、実現可能な件に関しては出来る限り細やかに対応し、利便性向上に努めていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 ・コミュニティバスは、市内の様々な道路を運行しているため、道路状況によっては運行中に振動がある等でご迷惑をお掛けしております。利用者の皆様に安全に乗りいただけるようできる限り配慮しながら運行します。 ・無料バスについては、利用促進のため、今後検討を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 商工課 商工課 商工課 商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	消防・防災	<p>・消防団は、市が管理して、団のまとめもやってほしい。副業として参加した方のみ報酬を渡してほしい。団ごとだと、古い体質の人が飲む方を大切に思っている。</p>	<p>・消防団員の身分は、非常勤特別職の地方公務員です。報酬は令和4年度から個人支給となっています。</p>	警防課
		<p>・防災ラジオのコロナの放送をやめてほしい。くだい。ストレスになる。なんの基準で流しているのか。</p>	<p>・8月5日以来、県より発出されていた「岐阜県B.A. 5対策強化宣言」が、9月30日をもって解除され、市内においても陽性者数が減少傾向にあることから、市は、防災行政無線を使用した感染防止対策の呼びかけについて、一旦中止しています。なお新型コロナウイルス感染症は、高齢者や基礎疾患をお持ちの方には、ハイリスクの感染症であることに変わりありません。ご自身のみならず、ご家族、ご友人の命をまもるため、「メリハリをつけたマスク着用、手指消毒、密回避、こまめな換気、体調管理」など、基本的な対策を継続すること、さらにワクチン接種をしていただくことは、非常に重要であると考えていますので、今後ともご理解ご協力のほど、お願いします。また、陽性者数の増加がみられたときは、放送を再開します。</p>	生活安全課
		<p>・不安定な世界情勢を鑑み、食料需給バランスが崩れた場合に備えて、瑞浪市民の食料確保の観点から政策を立案するべきではないか。</p>	<p>・米や麦、大豆といった食料の確保及びその供給は国が実施する政策です。本市ではその政策に基づき、取り組み方針等を確立しています。食料の安定供給には、農業生産の拡大が不可欠となりますので、田や畑といった農業資源を十分に活用するとともに、農業従事者を確保していく必要があります。こうしたことから市では、平時から耕作放棄地の解消や担い手の育成といった施策を積極的に実施することで農業生産の拡大を図るなど、国の政策に速やかに対応できるよう準備しています。</p>	農林課
	防犯・交通安全	<p>・子供達が安心して学校へ行ったり、遊べるように防犯を強化してほしい。</p>	<p>・各地区に対して防犯灯や防犯カメラの設置補助を行っています。また、瑞浪市防犯推進の会で地域での青色防犯パトロールを行っていただいています。</p>	生活安全課
	市民生活	-	-	-
基本方針3 都市基盤		<p>・歩道が木の根でポコポコになり、歩きにくいしカートが引きづらい。 ・街路樹の整備ができていないところがある。枝が茂りすぎたり、秋には枯れ葉（落ち葉）で景観を損ねている。安全性にも欠ける。 ・道端や河川敷の草刈りをもっとしてほしい。 ・街路樹枯死を放置せず植え替えてほしい。 ・道路区画線のムラムラ表示、公園の雑草や看板の発錆・消えかけ等、計画に基づき対応するべきである。</p>	<p>・歩道は、県道であれば岐阜県が、市道であれば瑞浪市が管理しています。交通の影響状況等を踏まえ定期的に剪定しています。 ・河川は、河川管理者である岐阜県（一級河川）・瑞浪市（普通河川）が管理しています。 ・街路樹の枯死については、低木植栽や花壇等に変更の方法が考えられますが、夏場の水やり等手間がかかりますので、自治会等による管理協力が不可欠となります。 ・道路管理者・河川管理者としての管理には限界があります。県道であればぎふ・ロード・プレーヤー、市道であれば公共施設維持管理里親制度による地元等での管理についてもご検討ください。なお、十分に行っていない箇所や通行に支障のある箇所がありましたら、土木課までご連絡ください。</p>	土木課
		<p>・道路標示の特に路肩表示白線のムラムラ表示を直してほしい。</p>	<p>・道路区画線については、区長会等を通じて要望をいただき、予算の範囲内で順次更新を行っています。</p>	生活安全課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	道路・河川	<ul style="list-style-type: none"> ・小公園の雑草をきれいにしてほしい。 ・公園の施設表示看板等の発錆・案内が消えかけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園施設の維持管理は毎年計画的に行っており、除草等は地域の方々等にもご協力いただきながら対応しています。 ・表示看板等の発錆や案内看板が消えかけているものについては、随時交換等の対応を行っていきます。 	都市計画課
		<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷の整備をしてほしい。遊歩道のような形で、気軽に散歩や川遊びが出来るようになると良い。夏場になると背の高い草木が茂り、あまり良い印象を受けない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土岐川の市役所下流に遊歩道が整備されています。また、土岐川へ下りられる階段を整備しています。市内では大きく利用できる河川敷がなく、大規模な整備ができませんのでご理解のほどお願いします。 	土木課
		<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪インターチェンジへのアクセス道路の改善。薬師交差点から市民公園に向かうと高速から出てきた車と右折で交差する。また、市民公園・瑞浪IC口交差点から高速道路に向かうのも右折。注意喚起で事故防止対策とするのは限界があるので構造を考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬師交差点から市民公園に向かう道路は県道、市民公園・瑞浪IC口交差点から高速道路に向かう道路は市道ですが、構造的にも大きな問題はなく、右折の際に支障となる瑞浪ICから薬師へ向かう交通量は多くないため、慢性的に渋滞等が生じている状態ではありませんので、現在構造変更は考えていません。ご理解のほどお願いします。 	土木課
		<ul style="list-style-type: none"> ・平日朝の国道19号の渋滞に困っている。瑞浪恵那道路が早くできると嬉しい。 ・瑞浪恵那道路の工事の防音、振動、景観保全が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般国道19号瑞浪恵那道路は、渋滞・事故などの交通課題の解消やリニア中央新幹線の開業の地域振興に寄与することを目的に計画された道路で、国土交通省により工事が進められています。 ・瑞浪恵那道路整備促進協議会にて、毎年国に対して早期供用開始の要望活動を行っています。引き続き、早期供用開始が実現するよう要望活動を行っています。 ・騒音等の生活環境や、現状の土地利用を考慮して計画され、騒音や振動が最小となる施工方法が進められています。 	都市計画課
	まちなみ	<ul style="list-style-type: none"> ・化石公園をよく利用するが、あれだけ広い土地があるのに物足りない。アスレチックやボルダリングなど遊具を拡大してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公園については、屋外イベントの開催、自然を感じることができる散策路、複合遊具の設置など、子どもから大人まで幅広い世代の方が楽しめる多目的利用を想定した整備をしており、現在のところ新たな遊具設置の予定はありません。 	都市計画課
		<ul style="list-style-type: none"> ・小樽公園などで、フリーマーケット、マルシェ、ダンスなどで活用できるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には都市公園が31箇所あり、市民公園のいこいの広場や芝生広場については、マルシェ等でも利用いただいています。小樽公園などについても、フリーマーケット等での利用を検討される場合は都市計画課にご相談ください。 	都市計画課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の活性と市の人口増を図るため、中高層マンションを中心としたまちづくりを行ってほしい。 ・ 駅周辺に規模の大きい公園、室内アスレチックを建設してほしい。 ・ 駅周辺でイベントがしやすいように空き空間を活用してほしい。 ・ 駅周辺はさびれているし、活気がない。恵那駅前を参考にしてほしい。 ・ Mビルの利用方法等を開示し、駐車場も使えるようにしてほしい。また、もっと宣伝したり、イベントを開催したりして利用を促すべき。 ・ 駅前だけにお金をかけているから瑞浪は衰退していく。駅周辺の開発に税金を使ってほしくない。山田周辺の道路を広げる事に力をかけたら、人々が瑞浪市に入ってくるのではないかな。 ・ 駅前の再整備について、計画を見直してほしい。現在の計画で駅前の再整備を行ったとしても、市の活性化にはつながらないと思う。人口が大きく減少していく中、保留地の処分先がないことは明らかで、大きな借金が残るだけであり、事業を中止すべきと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅南地区では、地権者の皆さんと共に市街地再開発事業を検討しており、新たに住みたい人も入居できるマンションと飲食店やスーパー・コンビニ等の店舗が入った再開発ビルの整備を計画しています。大きな公園の設置予定はありませんが、駅前広場の拡張や歩行空間の整備を含め、魅力あるまち、歩きたくなるようなまちなみの整備を計画しています。 ・ 駅北地区に計画している複合公共施設内には、多目的に利用できるホールの導入を検討しており、軽い運動等にも利用できるような計画をしています。 ・ 恵那駅前だけではなく、他市の様々な事例を参考にし、活気ある駅周辺のまちづくりを進めていきます。 ・ Mビルについては、市ホームページやSNSで利用方法やイベント情報をお知らせしています。今後も、さまざまな方法で積極的に情報発信を行い、周知を図ります。 ・ 瑞浪駅周辺のまちづくりは、市の玄関口、中心市街地として、住んでいる人だけでなく、訪れる人や、駅利用者にとっても魅力があるまちとなることを目指しています。また瑞浪駅周辺だけでなく、国において瑞浪恵那道路、県において大西瑞浪線、市において上平5号線等、周辺部の道路整備も計画的に進めています。また、ご意見のとおり、市街地再開発事業は保留床を売却し、主な事業費を賄いますので、保留床の処分の目途が立たないうちは事業に着手しません。 	都市計画課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅裏の駐車場がとても不便。もう少し出入りをしやすく、駅、商店街に早く行ける様になると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南北地区の連携を強化できるように、北口改札の新設や、地下自由通路の利便性・デザイン性の向上等について、他市の様々な事例を参考にJR東海と協議を行っています。 	都市計画課
	住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前の駐車場が中途半端な気がする。無料にする必要はなく、有料駐車場として整備すれば、少しでも市の収入につながるのではないかな。 ・ 夕方には迎えに来た車が駅の待ち合わせ場所に入りきらず、駅前の道路に並んでしまう。また、駅北に大きな駐車場はあっても改札口からのアクセスが悪い。瑞浪市は名古屋の地下鉄に広告を出すなど、移住者を呼び込もうとしています。そういった人は電車で通勤すると思われ、その人たちのためにも送り迎えでのアクセスや、駅近くに駐車して電車に乗り換える際のアクセスを改善する必要があると思う。駅前に車を停めて待ち合わせるスペースを広くする。駅西の自転車駐輪場と駅北駐車場の真ん中を結ぶ歩道橋を設け、電車と車の間の距離が短くなるようにするべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場は送迎車両待機場として30分以内の利用となっていることから、利用料の徴収はしていません。 ・ 駅前広場については交通量調査を行い最適な交通処理方法を検討し、駅南地区の市街地再開発事業と併せ、混雑の解消及び利便性の向上を図ります。しかしながら、施設整備における混雑解消には限界があるため、時間差での利用等、駅前広場の使い方の工夫による、混雑の回避もご検討ください。駅北からのアクセスについては、北口改札の新設や、地下自由通路の利便性・デザイン性の向上等について、他市の様々な事例を参考にJR東海と協議を行っています。 	都市計画課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 空家を陶芸をする人達に貸す、又は定住してもらい、陶芸の町として盛り上げる。宿泊して陶芸体験が出来る施設があるといい。（1～2泊で陶芸や五平餅を作る。ポーノポークでソーセージを作る等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市では、空き家・空き地バンク制度として、物件情報を市ホームページで公開し、マッチング支援を行っています。陶芸家の方が、バンク制度を活用して物件を賃貸された事例もあります。 	市民協働課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 住みたい市になるには市営の共同墓地（樹木葬etc）を作ることだと思う。瑞浪市は墓地の心配をする必要がないことを広めれば、住人はどんどん増えると思う。無宗教で安価な費用で利用できる物を作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市は共同墓地を有してはならず、また現状ではニーズは低いものと考えています。しかし、今後の状況の変化には注視していきます。 	環境課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅ときなあつ瑞浪の共倒れが心配。きなあつに予算を投じるなら、道の駅は再考すべき。 ・釜戸に道の駅をつくる際、温泉施設など付加価値をつけて他の道の駅との違いを出していけるとよい。 ・道の駅は税金を使って運営するので、健全運営の黒字化を目指して欲しい。何度も寄りた駅。新鮮な地元野菜、特徴ある商品を厳選して仕入れ販売を目指して欲しい。道の駅の会議等行なっておられるが、すでに出来上がっている基本計画を肉づけするだけのことはやめてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅については、令和元年度に策定した基本構想をもとに、令和2年度から基本計画の策定を進めています。 ・基本構想では、当面は農産物直売所は導入しない方針として、きなあつ瑞浪から仕入れた食材や加工品を販売する等、積極的に連携を図ることとしています。道の駅ときなあつ瑞浪との関係性について、差別化を図ることで共存共栄を目指します。 ・基本構想では、温泉施設の導入可能性について、公費での整備は慎重な検討が必要との整理を行っています。市においては、計画地の自然（土岐川や佐々良木川）を活かすなど、地域資源を活用した道の駅を目指しています。 ・道の駅へ導入する機能・施設の整理については、「よろずや」、「特産品等を活用した地域物産店」などを検討しています。きなあつ瑞浪との連携も図りながら、市全体の活性化を図るための拠点として、今後、持続的かつ安定的な運営体制の構築を検討していきます。 	都市計画課
		<ul style="list-style-type: none"> ・高校や大学が充実しているため、もっと若者に焦点を当てたまちづくりをしていくと良い。 ・若者の意見に耳を傾けてほしい。他の市に比べて個性的になると市民も活気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、若い目線でまちの魅力向上や課題解決を図る目的で、学生が主体の「ミライ創ろまい課」を結成し、月2回程度の活動を行っています。また、今年度は、第7次総合計画の策定に向け瑞浪高校、中京高校、麗澤瑞浪中学・高校、中京学院大学の学生によるワークショップを開催し、10年、20年先の市の将来像について意見交換をしました。その他、毎年、市内3高校、1大学の学生のみなさんと市長と語る会を開催し、ご意見をいただいています。引き続き、まちづくり施策を展開することにより、住み良いまち、魅力あるまちを目指します。 	企画政策課
	上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金が非常に高い。値下げをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市は自己水源を持っておらず、岐阜県東部広域水道より水道水を購入して利用者へお届けしていますので、自己水源を持っている自治体と比べ費用が高んでいます。また、本市の特徴として、地形が山間部に跨っていることから、山の上の地域へ水をお届けするための送水ポンプ等にも維持管理費がかかっています。本市は、給水区域は広域ですが、給水人口が少ないため、整備や維持管理にかかる費用に対して、利用者から料金収入とさせていただく額が少ない状況となっています。本来は料金収入によって水道事業を運営するべきところですが、料金収入だけでは経営が困難なため、一部は一般会計からの補助金等を受けて経営が成り立っています。こうしたことから、費用削減を図るため、本年度、岐阜県に対して、水道水の購入単価を減額していただくように要望を行いました。これまで、組織のスリム化や隔月検針の導入等経営の合理化を図ってきましたが、今後、人口減少および資産の更新需要の増加により経営環境は一層厳しくなることが予想されますので、値下げは困難な状況です。 	上下水道課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
基本方針4 産業経済		<ul style="list-style-type: none"> ・害獣の被害で困惑している。積極的な対応をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシなど、農地などに被害をおよぼす鳥獣については、瑞浪市鳥獣被害対策実施隊により、捕獲を実施しています。また、電気柵の購入に対する補助金制度やワイヤーメッシュの支給制度などがあります。要件がありますので、活用される場合は、農林課までご相談ください。 	農林課
		<ul style="list-style-type: none"> ・休耕田等の使われていない土地を引き取って、有効活用してほしい。田、畑、山林、雑種他等、ソーラーパネル設置の自由化を行ってほしい。未だに隣地の同意書を求められる（農業委員会等）。隣地の反対でソーラー設置の話が進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法により、農地転用には一定の規制が設けられています。農地を太陽光発電施設等の農地以外の施設に転用する場合、隣接農地へ影響を及ぼさないことの確認と、近隣への事前周知のため、隣接農地所有者の同意書の提出をいただくよう依頼しております。ただし、同意が得られない場合でも、施工計画や設計図面等により、周辺農地へ影響を及ぼさないことが確認できれば、転用は可能です。 	農業委員会
		<ul style="list-style-type: none"> ・山林が昔と比べかなり荒れている。人が入って整備することで野生動物の被害が減るし、自然災害の心配も減ってくる。個人で維持するのは難しいので対策をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より、森林環境譲与税を活用し、人工林を対象に私有林について、今後の山林管理の意向調査、調査結果に伴い間伐を実施しています。1年で1地区（60ha程度）の調査となっており、順次実施します。 	農林課
	農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業や林業など若者の雇用が増えるように支援してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに農業を開始する方に対して農業用機械や施設などの導入や就農に向けた研修資金、経営開始時の運営資金などの支援を行っています。 	農林課
			<ul style="list-style-type: none"> ・市内への移住・定住の促進及び将来の林業を支える人呼び込むため、岐阜県と協力し、岐阜県以外から転入した方が、瑞浪市内に移住して林業に就業した場合、「瑞浪市林業就業移住支援金」の交付（単身60万円、世帯100万円）を行っています。 	市民協働課
		<ul style="list-style-type: none"> ・農業の生産から加工までできる勉強会や、会社・組織があれば、生活も仲間意識も潤う気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県が農業の基礎知識から実践技術、経営戦略などのノウハウを習得するための各種研修を実施しているほか、農業者を養成することを目的とした農業大学校も設置しています。また、市内では、陶都信用農業協同組合が新規就農者、直売所の出荷者の育成を目的に市内で野菜づくり塾を開催していますので、ご活用ください。 	農林課
		<ul style="list-style-type: none"> ・自身の家に行く道の整備を何度もお願いしているが、農道のため全く受けつけてくれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農道など農業に使用している道路であれば、農林課へご相談ください。また、農業施設の補修及び改修事業を実施する場合は、受益者による負担金が必要となります。 	農林課
		<ul style="list-style-type: none"> ・きなあはとても便利だが、もう一件スーパーに寄らないと用事がすまないことが多いので、もう少し扱う商品を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きなあは瑞浪は農林畜産物とその加工品の販売等を目的とした施設のため、それ以外の日用雑貨などは販売できません。農林畜産物については、施設の管理者が利用者から要望を伺う中で、取り扱い商品の種類を増やすなどの対応に努めています。 	農林課
畜産業	<ul style="list-style-type: none"> ・豚の糞を堆肥や発電として売ったり、使ったりするのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の養豚場では豚糞を堆肥化して販売しています。 	家畜診療所	

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設が少ない。積極的な誘致が必要。 ・飲食店が少ない。映画館、回転寿司、雑貨屋、ケーキ屋がほしい。 ・陶や稲津などの山奥に「銀の森」の様な複合施設があると良いと思う。 	<p>・地方都市である瑞浪市では、名古屋等の大型商業施設があるところと比べると娯楽という面においての施設が少ないのが現状です。商業施設の運営は民間企業が行いますが、企業は利益を出さなければならないので、収益の出る場所に立地します。近隣の大型商業施設として土岐市のアウトレットがありますが、このアウトレットの商圏は、市域を超えた広域を想定していること、また、土岐市へのイオンモールの進出を鑑みると、企業は収益性の面からも、瑞浪市にさらに新しい大型の商業施設を立地するのは難しいと思われます。イオンモール等の規模ではありませんが、瑞浪市にも大型のスーパーや家電量販店等の商業施設が複数立地しており、生活に必要な物がすぐに手に入る住みやすい環境が整っていますので、買い物等について、引き続き市内をご利用いただければと思います。</p>	<p>商工課</p>
		<p>・中学校が合併したことで旧小学校が使われていないようですが、人が集まる商業施設を誘致するなど出来ないか。雇用と集客が見込めるような建物があれば活気を取り戻せるのではないか。</p>	<p>・これまでに、釜戸中学校及び旧陶小学校において、跡地の活用に取り組んできました。今後、地元から廃校となった学校施設の跡地利用を希望するご意見等があった際は、ご要望に沿った活動を行う企業の誘致に取り組んでいきます。</p>	<p>商工課</p>
	商業	<ul style="list-style-type: none"> ・個人所有地にも働きかけて企業を呼び込まないと瑞浪市の将来は明るくない。 ・企業が増えれば、働く場所が出来、雇用が多くなれば、人も増え活気のある良い町になる。地域柄、車載関連企業の誘致が中心となるが、EV電動化に伴う先進的な企業誘致を行う事で、将来的な街の活性化に繋げてほしい。 ・若者の職場がない。Uターン出来る所がない。珍しい働き場もあるといい。 ・市内に働く場が少ない。再生可能エネルギー事業に参画し雇用を作るのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点において、市で開発する大規模な工場用地の計画等はありませんが、民有地を活用して企業への土地の斡旋や紹介などを行っていきます。 ・今後、企業誘致のための適地調査をする必要もありますが、大きな予算に伴う新たな工業団地の建設は現実的ではなく困難です。このため、市内で操業している各企業がレベルアップし、第2操業、第3操業できるような環境を整備し、それに伴う既存企業の雇用人数の増加を支援していくことが現実的な施策であると考えています。また、市において創業者を支援する「新たな事業チャレンジ支援補助金」を活用した事業者がこれまでに多く創業しており、各事業の今後の規模拡大等に伴う雇用の増加も期待されます。 ・再生可能エネルギーの業種に限ることなく、企業誘致活動に努めています。空き地等になっている民有地と進出企業の条件とが合致すれば、新規企業の進出による雇用の創出が見込まれます。また、本市では、企業立地の際の奨励金として、市内の方を一定数雇用した場合に奨励金を交付する制度を設けており、積極的に市内の方を雇用していただくよう、企業へ働き掛けています。また、再生可能エネルギー事業に関しては、環境基本計画の策定において、この可能性を検討しています。 	<p>商工課</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・日吉町にも工場誘致して欲しい。 	<p>・現時点において、市で開発する大規模な工場用地の計画等はありませんが、民有地を活用して企業への土地の斡旋や紹介などを行っていきます。日吉町において、活用可能な土地があり、企業の進出条件と合致すれば、企業誘致が可能となる場合があります。</p>	<p>商工課</p>
	工業	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイションパークでの、市内からの就業者の割合はどのくらいか。市民が採用されるような取り組みをしてほしい。 	<p>・瑞浪クリエイション・パーク内において、令和3年12月時点で、従業員の5割が市内在住者となっています。市では、企業立地の際の奨励金として、市内の方を一定数雇用した場合に奨励金を交付する制度を設けており、積極的に市内の方を雇用していただくよう、企業へ働き掛けています。</p>	<p>商工課</p>

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・JRでアクセス良好なので、もっとアピールして観光に力を入れてほしい ・人が集まる、夢が膨らむような大型施設があると良い。 ・稲津や陶の川はきれいなので、整備すれば新たなスポットが出来るのではないかな。 ・花畑などインスタ映えする場所を作ってほしい。 ・おしゃれな陶器のストリートや施設を作ってほしい。 ・陶器、地酒、川、化石など観光資源はあると思います。現代に合ったちょっとお洒落な感じが出せたら賑わうのではないかな。 ・地元の特産品、郷土の歴史、地形を最大限に活用して立ち寄りて頂ける瑞浪になってほしい。 ・国道19号線沿いも魅力的な店がなく、観光にするにしてもただの通り道となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市は、名古屋圏からJR中央線及び中央自動車道で約1時間とアクセスが良好であることをPRできるよう情報発信に努めます。 ・現時点では、新たな大規模施設等の整備の計画はありませんが、世界一の美濃焼こま犬等、今ある観光資源を磨き上げ瑞浪市の魅力向上に努めます。 ・市には、瑞浪ポーノパークといった特産品、中山道や地歌舞伎、鬼岩公園や竜吟峡といった自然あふれるスポットなど多くの観光資源があります。今後も観光資源の磨き上げや新たなプラン造成などを検討し、観光誘客の促進に努めます。 ・市で新たに観光名所となるような施設等の整備の予定はありませんが、地域の活性化や景観を活かした施設等の整備に対して補助をする「地域活性化施設等整備補助事業」を行っています。今後も事業の周知とともに地域活性化や観光誘客に繋がる取組みを支援していきます。 	商工課
		<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴルフの町みずなみ」は、ゴルフをする人にとっては良い町かもしれないが、ゴルフ人口も減り、ゴルフ自体が裕福層をターゲットにしているようで、瑞浪を良い意味でアピールするほどの魅力はないのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には13のゴルフ場があり、県内随一の数を誇っていることから、「ゴルフの町みずなみ」として市内外に広くPRするため、ゴルフの町みずなみ実行委員会を組織し、幅広い世代に「ゴルフの町」を認知していただく活動を行っています。引続き、ゴルフを通じて瑞浪市のPRに努めます。 	商工課
		<ul style="list-style-type: none"> ・日帰り温泉施設を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市として日帰り温泉施設を整備する予定はありませんが、現在市内では鬼岩温泉「いわみ亭」、白狐温泉「今井屋」、稲荷温泉「不老荘」などが日帰り温泉としてご利用いただけますので、是非ご利用ください。 	商工課
		<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市に観光協会ができたと聞いたので、観光や若者が集まれる場所に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より瑞浪市観光協会に事務局長が就任され、多くの事業にご尽力いただいています。市も全面的に協力をを行い、共に観光の発展に努めていきます。 	商工課
	観光	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市には美しい田園風景やウォーキングやサイクリングに適した場所が多くある。こうした自然や環境に目を向け、多くの媒体で広報すれば、いろいろな人が瑞浪を訪れ、市の観光が盛り上がるのではないかな。 ・屏風山の黒の田湿地は希少な植物が見られる場所としてとても人気がある。湿地に近い笹平登山口の駐車場や付近の道路の整備を地元の方任せにせず、市でも応援してほしい。 ・山を活用すべき。アウトドア・スポーツ施設を大規模に作るなど、県外からも集客が見込めるアクティブな事業をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、屋外で自然を活かした観光に注目が集まっています。瑞浪市は屏風山、鬼岩公園、竜吟峡など自然豊かなまちであり、それらを活かした観光には適した環境であるため、多くの方に瑞浪市の自然を体感していただけるようなコンテンツを造成できないか関係団体等と連携し検討を始めています。 	商工課
		<ul style="list-style-type: none"> ・中仙道を歩く人が多く、歩道のついた二車線にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見いただいた中山道は細久手宿と大湫宿間と推測しますが、県道であるため、岐阜県が管理しています。二車線化といった大規模な改修は難しいと思われる。 	商工課
		<ul style="list-style-type: none"> ・弁天池を駐車場のある公園にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弁天池周辺の状況から、駐車場のある公園へ改修を行うことは難しいと思われる。 	商工課
		<ul style="list-style-type: none"> ・観光については市民以外の方にヒアリングすると新しい発見もあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在瑞浪市の観光について市外の方にアンケート調査を行っていますので、その調査をもとに市の観光コンテンツを検討していきます。 	商工課
		<ul style="list-style-type: none"> ・化石など貴重な観光資源があるので、福井県の恐竜博物館のように、アピールしてあげるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年化石の発掘により化石のまちとしての認知度が高まっているため、今後も化石博物館等と連携して、全国でも貴重な観光資源として活用できるよう努めていきます。 	商工課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<p>・観光客を引き付けるような魅力的な食品に乏しいように思う。観光業に力を入れるなら、わざわざ宿泊してまで食べたいような、知名度・求心力のある食品を生み出す（あるいは既製品の知名度を向上させる）ことはできないか。食器や地酒などの脇役は充実しているので、瑞浪といえばこれだと言えるような主役を張れる食材があれば、相乗効果でもう少し観光客を引き込めるのではないかと思う。</p>	<p>・東美濃の特産として五平餅や栗きんとん、地酒といったものがあり、現在各市町と連携してPRを行っています。引き続きそれらの魅力と知名度をより高めるため、広域での情報発信に努めていきます。また市においては、瑞浪ポーノポークやみずなみ焼きといった地場特産品をPRする機会として、これまでポーノポークグルメスタンプラリーやみずなみ陶器祭りといったイベントを実施しています。また「観光協会推奨品」と題して市内の事業者からおすすめの一品の募集を行っています。今後も特産品が観光目的となるよう、特産品のPRに努めます。</p>	<p>商工課</p>
		<p>・観光面での外部へのアピール（情報発信）が近隣の市町村と比較して下手。もう少しマスメディア等を活用しての情報発信を行い、県外・市外からの集客に繋げる事が大事。</p>	<p>・現在、岐阜県や瑞浪市観光協会と連携し、ラジオ出演や雑誌・新聞記事での観光情報発信を行っています。引き続きPR機会の獲得に努めます。また、昨年度、瑞浪市の公式Twitter、Instagram、YouTubeが開設されましたので、SNSを通じた観光情報発信も強化していきます。</p>	<p>商工課</p>
<p>基本方針5 教育文化</p>	<p>就学前教育・学校教育</p>	<p>・学校給食について、アレルギー対応をしてほしい。</p>	<p>・食品表示法においてアレルギー表示することが定められている品目は、特定原材料として「小麦、そば、卵、乳、落花生、えび、かに」の7品目と特定原材料に準ずるものとして21品目の合計28品目となっています。給食でアレルギー対応を行う場合、これらすべてを除去することは困難であり、また、除去食の調理には独立した製造施設と専用の調理員も必要となるため、市の設備では対応は難しいと考えています。現在は保護者に毎日成分表を配布し判断していただいています。</p>	<p>学校給食センター</p>
		<p>・北中学に子供が通っていますが、明世地区には通学バスが回ってくれず、不便。自転車購入の負担も大きい。</p>	<p>・瑞浪北中学校の通学方法については、統合準備委員会において慎重に審議され、「スクールバスで通学するのは、統合により中学校への通学経路が変わる生徒（具体的には、日吉小・日吉中・釜戸小・釜戸中に通学する児童生徒）」と決定し、これに基づいて運行されています。そのため、統合により中学校への通学経路が変わっていない生徒については、これまで通りの通学方法で通学するようになっています。</p>	<p>学校教育課</p>
		<p>・通学路の整備がされておらず、歩道のない所を、車が来ててもよける場所もない。危ない思いをしながら学校に通うことを学校に訴えても、改善されることはなかった。 ・土岐小通学路の整備。道が狭いし歩道がない。スクールゾーンの設置など。</p>	<p>・通学路については、学校等からの要望を受け、市道・県道・国道を所管する関係機関、警察、連合自治会・まちづくり推進協議会・交通安全協会の代表者等の関係者で実地調査を行い、「対策実施担当」「対策内容」「対策時期」を明らかにします。その後、対策実施担当の機関が、ガードパイプの設置・注意喚起のグリーンベルトの舗装・白線の引き直し等の対策を随時を進め、最後に、対策の結果を市ホームページに掲載しています。要望に対応できない場合は、学校に理由を説明したり、その他の対策（安全指導や通学路の変更など）を助言したりしています。 ・土岐小学校の通学路については、ご意見を学校と共有し、対応を検討します。</p>	<p>学校教育課</p>
		<p>・教育費の補助があるといい。家計が苦しく上の学業に進みたくても進めない人に学費の助けをしてほしい。</p>	<p>・市では、教育の機会均等を確保し、将来社会に貢献できる優秀な人材を育成することを目的として、高校生及び大学生に対し給付型の奨学金を支給していますので、ご活用ください。なお、要件については、市ホームページ等でご案内しますのでご確認ください。</p>	<p>教育総務課</p>

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<p>・学区を見直してほしい。通学距離で決めるといい。子供と送り迎えする親の負担が減る。住んでいる場所より遠い学校が校区として設定されているが、ある程度自由に通える学校を選択できるようにしてほしい。</p>	<p>・就学する学校については、就学予定者の住所地によって指定しています（瑞浪市立小学校及び中学校の就学区域定める規則第2条）。また、特別の事情があり、指定された学校に就学できないときは、保護者が教育委員会に申し立てをすることができるようになっていきます（第3条）。</p> <p>・現在、学区制審議会で、児童生徒数が減少している状況下において「子供たちのよりよい教育環境を確保していくためにはどのようにしていくとよいか」を話し合っています。その中で、学区の見直しについても検討しています。</p>	<p>学校教育課</p>
		<p>・3小学校（釜戸小、稲津小、明世小）の屋外プールが老朽化のため、修理不能で近隣の小学校のプールにバスで移動して使わせてもらうことになっている。学校の施設の老朽化は事前に把握できたことであり、悪くなる前に対策できたはず。保護者達には説明してもらっていない。将来を担う子どもたちにとって、今何が重要か、何をしてあげられるか大人目線ではなく、大人になった私たちの子どもの頃目線で考えたいのではないかと。持続可能な公共施設にして頂きたい。</p>	<p>・ご指摘の各小学校のプールについてはこれまでも維持修繕を続けてきましたが、それぞれ建築後40年以上を経過しており老朽化が著しく施設の抜本的な改修には多大な費用を要するため、比較的新しいプールの学校へそれぞれ移動し授業を行うこととしました。今後については今ある施設をできるだけ延命することで対応します。</p>	<p>教育総務課</p>
	<p>社会教育</p>	<p>・おしゃれな図書館を整備してほしい。勉強などでもできるカフェスペースも欲しい。</p>	<p>・現在、市では瑞浪市公共施設等総合管理計画および瑞浪駅周辺まちづくり基本方針に基づき、瑞浪駅北地区に市民図書館を含む複合公共施設の整備を計画しています。計画では、図書館機能の拡充やカフェの併設等も視野に入れています。多くの人々が集まる魅力的な施設となるよう、いただいたご意見を参考にさらなる検討を進めていきます。</p>	<p>社会教育課</p>
		<p>・ニューイヤーコンサートが、また開かれてほしい。</p>	<p>・市民における芸術・文化の発展を目的に開催してきた「みずなみニューイヤーコンサート」は一定の成果が得られたことから、令和元年度の公演にてフィナーレを飾り、再開の予定はありません。長きにわたりご支援いただきありがとうございます。</p>	<p>社会教育課</p>
		<p>・子供たちがもっとゴルフをたしなめたり、パターゴルフができるようになったらいい。気軽に参加出来るゴルフ教室や中学での部活にゴルフ部があるといい。</p>	<p>・現在ゴルフの町みずなみ実行委員会が主体となり、市内の小中学校で「スナッグゴルフ」を授業に取り入れてもらい、子供たちにもゴルフに親しんで頂けるよう活動しています。また、パターゴルフ場が大湫町に、マレットゴルフ場が日吉町にありますので、こちらもぜひご利用ください。</p>	<p>商工課</p>
		<p>・高齢者が気軽にスポーツを楽しめるよう、グランドゴルフ場を有料でもいいので作ってほしい。</p> <p>・瑞浪地区にマレットゴルフ場を作ってほしい。</p>	<p>・部活動は、学校教育の一環であり、各学校に通う生徒の人数や実態、指導ができる教員の配置、活動場所や道具の確保等を考慮して決定されます。</p>	<p>学校教育課</p>
	<p>生涯スポーツ</p>	<p>・高齢者が気軽にスポーツを楽しめるよう、グランドゴルフ場を有料でもいいので作ってほしい。</p> <p>・瑞浪地区にマレットゴルフ場を作ってほしい。</p>	<p>・ゴルフに初めて触れる方や子供でも親しめる“スナッグゴルフ”の体験教室を実施しています。こちらに参加していただき、ゴルフへのアプローチにしたいだけだと思います。またパターゴルフ場やマレットゴルフ場もありますので、ご利用ください。</p>	<p>スポーツ文化課</p>
		<p>・高齢者が気軽にスポーツを楽しめるよう、マレットゴルフ場を作りたい。</p> <p>・瑞浪地区にマレットゴルフ場を作りたい。</p>	<p>・高齢者の方でも気軽に楽しめるスポーツとして、マレットゴルフがあります。日吉町にマレットゴルフ場がありますので、ご利用ください。</p>	<p>スポーツ文化課</p>

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も自分なりに運動で（散歩・軽運動）を楽しめるように市の体育館まで行かずにできるように、「ときわ」「市役所」ぐらいに運動器具・土岐川周辺で散歩コースを整備していただくといい。年を重ねても安心して歩けるコースがあるといい。各町に安心出来るウォーキングロードの設置を行い、健康寿命を伸ばす様にしたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には、“瑞浪市いきいきウォーキングコース”が設定されていますので、ご活用ください。 	スポーツ文化課
		<ul style="list-style-type: none"> ・スケートボード、バスケット、サッカーなど出来るエリアを積極的に作って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設を整備する計画はありません。体育館や競技場をご利用いただければと思います。 	スポーツ文化課
		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設、大人向けスポーツレッスン提供などを充実してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日にも開催しているバウンドテニス教室やスナッグゴルフ体験教室があります。また、教室の内容も年々変わっていきます。市ホームページなどで情報発信していますので、確認の上、ご参加ください。 	スポーツ文化課
	文化・芸術・文化財	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市の歴史や史跡などもっと大体的に広く紹介、公開されると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の歴史や史跡については、市ホームページや冊子、またボランティア団体と連携しての講座等でこれらを紹介・解説していますが、より大体的に紹介、公開するために、今後は市の観光部局や観光協会等との一層の連携に努めます。 	スポーツ文化課
基本方針6 新たなまちづくり	協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者、高齢者、若い世代などあらゆる人との交流の場がほしい。 ・区費が高い。 ・自治会は必要だと思うが、システムが今の時代に合っていない。 ・自治会役員が若い世代に偏りがちだが、働き方が多様化しており活動が困難。 ・自治会役員の担い手が減り、成り立たなくなっている。組織の見直しが必要ではないか。 ・班・組を離れた人が多くなっており、見直す必要がある。組を離れても不便もなく費用も掛からない。特にアパートは、組織から離れている。災害等の時に実態がつかめないことが発生する。組織の見直しをしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの強化や継続した地域づくり、生きがいづくりに寄与すると思います。今後の検討課題とさせていただきます。 ・人口減少や高齢化、価値観やライフスタイルの変化などにより、自治会の組織や運営、活動状況をこれまで通り継続するのは、難しい状況です。従来の自治会活動が現状に合わなくなっているのであれば、自治会内で組織や活動内容、費用負担等を見直すための話し合いをもっていただきたいと考えます。また、役員の担い手不足が問題となる中、若い世代や現役世代の方が役員を引き受けやすい活動日や時間帯の設定、活動内容の見直し、無理のない範囲で参加できる仕組みづくりなど、皆さんで相談し、自分たちにあった組織に変えていくことも大切だと考えています。 ・自治会は地域における自主的な団体です。加入を強制することはできませんが、安全・安心に楽しく暮らせる地域づくりのためには、欠くことのできない重要な組織です。戸建て、アパートの別なく、誰もが無理なく自治会活動に参加できるような地域のつながりを考えていくことが重要です。ご理解とご協力をお願いします。 	企画政策課 市民協働課
		<ul style="list-style-type: none"> ・市の事業内容、今行っている事業、工事等の逐一の報告-連絡を市報等に掲載してほしい。もっと市報を活用して読ませたくなる中身にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報にて情報提供をしていますが、紙面の都合等で掲載できないものもあるため、市ホームページや各種刊行物等もご覧いただきたいと思います。また、地域懇談会でも市の行う事業について報告をしていますのでぜひ参加ください。 	企画政策課
		<ul style="list-style-type: none"> ・有事の際には、迅速に情報を発信してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオを全戸に無償貸与していますのでご活用ください。また、緊急時の情報については、ホームページ、防災・防犯情報については、LINEでも発信しています。 	企画政策課

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
	情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・InstagramなどSNSで発信した方が人が見ると思う。瑞浪市住民ではなく、住民以外の人に発信しなければ活気は出ないし、集客も見込めない。若い人が住みやすい、住みたくなるまちなみを作ることが今後瑞浪市を盛り上げるために必要なことだと思う。 ・瑞浪市全域にWi-Fiを整備してほしい。 ・マイナンバーカードの説明が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、Twitter、Instagram、YouTubeにて瑞浪市公式アカウントを運用しています。次代を担う人材を確保、育成していくため、子育て支援施策の一層の充実を図り、子供を安心して産み、育てられる環境づくりに取り組んでいます。 ・市内の公共施設、観光施設において無線LAN環境を整備しています。ご活用ください。 ・交付に伴う他の手続にある程度時間が掛かるため、説明については重要なポイントに絞って実施しています。市民の方が必要としている情報について精査し、今後の説明内容について検討を行います。 	<p>企画政策課</p> <p>企画政策課</p> <p>市民課</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・魅力あるまち、住みたいと思えるまちであってほしい。 ・若い世代が住みたいような魅力が乏しいのではないか。 ・若い世代が地域に誇りと愛着を持ち、安心して子育てできるような環境づくりが大切だと思う。 ・若い世代が様々なことに挑戦できる雰囲気や環境が整い、起業など自立心の高い市民が育成され、集まるような、市民力の高い町になることを望む。 ・市長が会議の場で、公共施設を減らしていく旨の発言をしていた。前向きでない。 ・税金が目に見える使われ方がされていない。 ・教育にあてられる予算をもっと充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きまちづくり施策を展開することにより、住み良いまち、魅力あるまちを目指します。 ・魅力あるまち、住みやすいまちを目指してまちづくり施策を展開しています。移住定住、企業誘致などの施策を展開することで人口減少の抑制につなげていきます。 ・全国的に昭和から平成の初めにかけて、人口増の中、公共施設が整備されました。人口減少社会となり、その維持管理には多くのコストがかかっています。本市においても同様であり、利用需要の変化や老朽化を見据えて全体の状況を把握し、長期的視点をもって見直し・再編を行っています。 ・皆さんからいただいた税金は、医療費助成や介護・自立支援に係る給付等の民生費、ゴミやし尿の収集・処理等の衛生費、小中学校の管理・運営等の教育費、道路の新設・維持補修等の土木費、火災や救急対応等の消防費等の公共サービスに広く使わせていただいています。 ・限りある貴重な税金を無駄にすることのないよう、必要な事業にバランス良く予算を配分しています。事業の効果を十分に検討しながら、メリハリのある予算編成を行い、教育の充実にも努めています。 	<p>企画政策課</p> <p>企画政策課</p> <p>企画政策課</p> <p>総務課</p> <p>総務課</p>

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<p>・動燃の施設終業により助成金の減少、財政は大丈夫なのかと思う。公共施設の老朽化、水道・下水道・橋梁等の老朽化に将来の対応策は取っていますか？よく予算が無いと言う事を耳にしますが、予算が無いのなら尚更、無駄な支出を抑え収入増・人口増加を考えるべきではないか。10年、20年先を考えた無駄のないお金の使い方を考えるべき。</p>	<p>・ご指摘のとおり、助成金（電源立地地域対策交付金）の交付終了は市の財政に少なからず影響を与えます。市では、交付終了を想定し、基金の積み増しや市債の繰り上げ償還を積極的に行う等、将来の資金の確保や経常経費の削減を進めてきました。10年、20年先を見据え、一層の財源の確保に努めると同時に、社会情勢、市民ニーズに沿った多様な施策を実施する必要があります。効果の高い施策に対して、メリハリをつけた予算配分を行うことで、効率的な行財政運営を行っていきます。</p> <p>・公共施設については、瑞浪市公共施設等総合管理計画等に基づき、最適化と持続可能な財政運営を目指し、公共施設マネジメントを推進しています。移住定住、企業誘致などの施策を展開することで人口減少の抑制につなげていきます。</p>	<p>総務課</p>
		<p>・市議会議員や市長が、どのようなまちづくりを目指して、実行しているのかを知りたい。人口減に対する取組みや若年層の市外流出への対応等を市民に求めず、きちんとしたビジョンを持っているのか疑問に思う。</p>	<p>・市としては、第6次総合計画において、「幸せ実感都市みずなみ」を将来都市像に掲げ、住みやすいまちを目指してまちづくり施策を展開しています。人口減少対策については、移住定住、企業誘致などの施策を展開することで人口減少の抑制に一定の効果を得ています。</p>	<p>企画政策課</p>
		<p>・市議会全体としては、市長が提案する総合計画を議決すること等により、まちづくりのビジョンを示し、市議会における議案の審議等を通して行政に対するチェック機能を果たしています。また、個々の議員については、市議会議員選挙の際のマニフェスト等で議員各自が考えるまちづくりのビジョンや政策を示し、市議会における一般質問等で市政への提案や課題の確認などを行っています。</p>	<p>・市議会全体としては、市長が提案する総合計画を議決すること等により、まちづくりのビジョンを示し、市議会における議案の審議等を通して行政に対するチェック機能を果たしています。また、個々の議員については、市議会議員選挙の際のマニフェスト等で議員各自が考えるまちづくりのビジョンや政策を示し、市議会における一般質問等で市政への提案や課題の確認などを行っています。</p>	<p>議会事務局</p>
		<p>・公務員の給料が高すぎる。</p>	<p>・本市職員の給料は、国家公務員に準じて定めており、概ね民間給与の平均賃金と同一水準となっています。そのため、本市職員の給料が特別に高いということはありません。今後も適正な給与水準を確保するとともに、職員が働きやすい職場環境の維持向上に努めていきます。</p>	<p>秘書課</p>
	<p>行財政運営</p>	<p>・人口3.6万人程度で議員数16人は多すぎる。 ・市議会議員の給料が高すぎる。</p>	<p>・議員定数については、人口5万人未満の全国の自治体における市議会議員数の平均人数は、17.0人であり、全国的に見ても本市は決して多い人数ではありません。また、本市議会では、平成11年に24人→22人、平成15年に22人→21人、平成19年に21人→18人、平成23年に18人→16人と、過去12年間で8人削減しています。議員定数の削減は、市民の意見を反映させるための地域間における議員数のバランスや市議会内の委員会の構成に支障をきたす恐れもあることから、慎重に議論しなければなりません。今回、貴重なご意見をいただきましたので、今後の課題とさせていただきます。</p> <p>・議員報酬については、人口5万人未満の全国の自治体における市議会議員報酬の平均月額33.4万円に対し、本市では37.5万円となっています。しかしながら、本市における議員報酬については、本市の公共的団体の代表者や住民の代表者等による瑞浪市特別職報酬等審議会において、市長の諮問に応じ、議員報酬や政務活動費の額について審議され、市長に答申されています。</p>	<p>議会事務局</p>

基本方針	施策	主な自由意見	市の考え方	記入担当課
		<p>・総合計画は、市職員が行政運営だけに使用するもので、計画を作成した後は、市民にとって遠い存在だと思う。</p>	<p>・総合計画は、自治体運営の基本的な指針となる最上位の計画ありながら市民への認知度が低いことは認識しています。現在、令和6年度より開始する第7次総合計画の策定に向けて準備を進めているところですが、市民のみなさまに総合計画を分かりやすく、親しみやすく伝えることを一つの目的として、基本構想をビジョンブックという形で、デザインにも注力します。 総合計画に掲げた将来都市像の実現に向けて、様々なまちづくり施策に取り組み、市民との協働により、総合的かつ計画的な行政運営を進めています。</p>	<p>企画政策課</p>
		<p>・助成金等を分かりやすく伝えてほしい。</p>	<p>・助成金等の情報については、市窓口での手続き時や市ホームページ、関係団体、関係会議等で情報を発信を心がけていますが、不足がありましたら、どのような分野の助成金についてお知りになりたいか、ご相談ください。</p>	<p>企画政策課</p>
		<p>・市民の意見を聞いて、きちんと回答をする機会を設ける事が必要。要望意見についての状況や結果を連絡するなど、市民が信頼できる市である事で暮らしに安心感が出る。職員の増員等の費用増が必要であれば、予算を調整してほしい。</p>	<p>・市長と語る会、市民アンケート等にいただいたご意見に対しては、回答を作成し、公表しています。また、市政直行使にいただいたご意見に対しては個別に回答しています。引き続きいただいたご意見に対する回答の情報発信に努めます。</p>	<p>企画政策課</p>
		<p>・企画や構想など「第7次総合計画」も役所の係長、課長、部長、だけでワーキンググループを作るのではなく、20代の職員を入れ、発言しやすい会議にすることが、若い職員の新鮮かつ斬新な発想を聴取し市政に反映させることが魅力作りのきっかけになるのではないか。</p>	<p>・第7次総合計画の策定に向け、市の若手職員による政策立案ワークショップ、全職員を対象としたアンケート、また、中学・高校・大学生を対象としたフューチャーセッションinみずなみ（学生ワークショップ）、小中学生を対象としたアンケート、みずなみ未来カフェ（自治会・まちづくりワークショップ）など、市民の意見聴取も幅広い世代で行っています。第7次総合計画は、今後10年間の計画であるため、ご意見のとおり若い力に期待する部分は大きく、とりわけ若い世代の意見を伺う機会を多く設けています。また、総合計画策定のプロセス自体を全職員に定期的に周知することで、要所で発言できる環境を構築しています。</p>	<p>企画政策課</p>
		<p>・市長と若手職員の意見交換会を開催すると良い。</p>	<p>・市長と若手職員の意見交換は、これまでも随時行ってきました。今後は、職員から市長に対し市政運営の改善に資する提案ができる職員提案制度を活性化していき、市政運営の参考にするだけでなく、職員のモチベーションの向上や職場風土の醸成を図っていきます。</p>	<p>企画政策課</p>
		<p>・市民アンケートをとることが「目的」になっている。これからの瑞浪市をどうしたいか目的をはっきりさせないとアンケートの意味がない。より具体的な目的、目標にするべきである。</p>	<p>・市民アンケートは、第6次総合計画において、施策の効果を把握するための指標として実施しています。この結果を踏まえて、令和6（2024）年度を初年度とする第7次総合計画の策定にあたっては、効果的な施策の検討や第6次総合計画で設定した指標の見直しを行う予定としています。</p>	<p>企画政策課</p>
		<p>・アンケートの返信用封筒のサイズを大きくしてほしい。三つ折りが入る大きさが望ましい。</p>	<p>・コスト面を踏まえ、検討します。</p>	<p>企画政策課</p>
	<p>人権尊重社会</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>